

文化活動の持続的発展に向けた支援策の検討状況

資料3

No	支援策(案)	内 容	備考(方針・検討状況など)
①	代わりとなる施設の周知	「総合コミュニティセンター・キャメリアホール」など、文化活動で利用可能な施設を松山市 HP など周知します。	・公立(県・市)の施設のほか、民間施設も含めて幅広く情報提供をします。 ・順次、松山市 HP で周知ができるよう準備を進めています。
②	代わりとなる施設の充実	・市有施設をより文化活動に使いやすくするため、舞台設備(音響や照明設備など)を充実させます。 ・文化団体の活動場所の確保に向け、協力を呼びかけます。	・既存施設に移動式音響反射板を設置するなど、設備の充実を検討しています。 ・講演会等の開催場所を舞台のあるホールから会議室に変更し、音楽・演劇活動を開催しやすくするよう、市の関係団体等と検討しています。
③	アウトリーチ事業	音楽家などが、学校や福祉施設に出向き演奏会やワークショップを行う、アウトリーチ事業を実施します。	・小中学生や福祉施設を対象としたアウトリーチ事業の拡充を検討しています。
④	まちなかパフォーマンス事業	演奏や合唱等のパフォーマンスを実施する個人や団体が活動しやすい環境を整えます。	・「まちなかパフォーマンス事業」の実施回数の拡充等を検討しています。 ・大街道だけでなく、松山市駅やJR松山駅周辺などで、開催を検討しています。
⑤	中間支援組織の設置	文化・芸術活動を支援・振興するため、行政と文化団体の間で、相談支援、助成、調査研究、情報発信などを行う専門機関を設置します。	・7月に名古屋市、秋田市、新潟市などの先進事例を視察し、庁内で検討を進めています。 ・文化団体の関係者や有識者の意見を伺っており、組織の設置方法、機能、専門人材の確保など、様々な内容を検討しています。
⑥	人材育成事業	将来にわたり、美術、演劇、音楽などの文化・芸術を振興するための担い手を育成します。	・既に実施しているアートマネジメント講座の拡充や中間支援組織での取組み等を通して、アートマネジメント人材育成を検討していきます。